

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 北海道財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年8月11日 |
| 【四半期会計期間】 | 第48期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日） |
| 【会社名】 | 札幌臨床検査センター株式会社 |
| 【英訳名】 | SAPPORO CLINICAL LABORATORY INC. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 細川 武雄 |
| 【本店の所在の場所】 | 札幌市中央区北五条西十八丁目9番地1 |
| 【電話番号】 | 011(613)3210 |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役 大井 典雄 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 札幌市中央区北五条西十八丁目9番地1 |
| 【電話番号】 | 011(613)3210 |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役 大井 典雄 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社 大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号) 証券会員制法人 札幌証券取引所 (札幌市中央区南一条西五丁目14番地の1) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第47期 第1四半期連結 累計期間 | 第48期 第1四半期連結 累計期間 | 第47期 |
|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日 | 自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日 | 自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日 |
| 売上高(千円) | 3,725,794 | 3,801,057 | 14,701,922 |
| 経常利益(千円) | 124,721 | 259,564 | 665,074 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 91,064 | 147,136 | 470,179 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 85,203 | 142,200 | 463,833 |
| 純資産額(千円) | 4,188,996 | 4,666,052 | 4,567,627 |
| 総資産額(千円) | 7,763,549 | 7,791,923 | 7,568,276 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 22.30 | 36.97 | 117.38 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 54.0 | 59.9 | 60.4 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第47期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

5. 当社の連結子会社であるアクテック株式会社の不動産管理並びに賃貸による収入及び原価については、従来、売上高及び売上原価に計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より営業外収益の受取賃貸料及び営業外費用の賃貸収入原価として計上する方法に変更しております。なお、第47期第1四半期連結累計期間、第48期第1四半期連結累計期間及び第47期の経営指標等については、遡及修正後の数値を記載しております。

2【事業の内容】

当社グループは、当社（札幌臨床検査センター株式会社）、子会社である株式会社帯広臨床検査センター及びアクテック株式会社、さらに関連当事者である三菱化学メディエンス株式会社により構成されております。

事業の内容は「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記」に掲げるセグメント情報と同一区分となっており、事業の位置付けも次のとおりであります。

(1) 臨床検査事業

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

(2) 調剤薬局事業

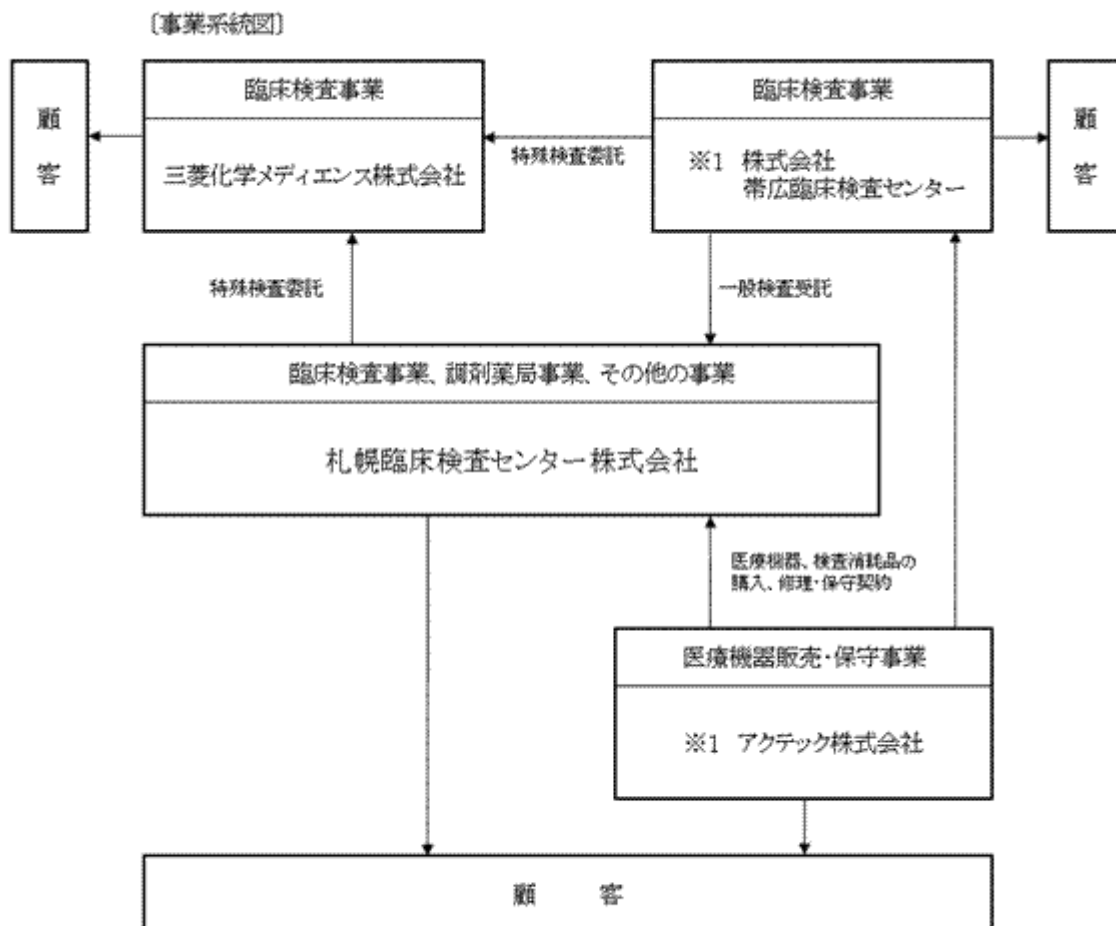
主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

(3) 医療機器販売・保守事業

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

(4) その他の事業

当社は、臨床検査システム等のソフトウェアの開発、販売及びこれらの保守を行っております。



(注) ※1 連結子会社

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び原子力発電所の事故により、各地に膨大な被害をもたらし、またサプライチェーン（供給網）が寸断するなど、生産活動が大幅に低下しました。近時、被災した製造工場の再稼働やサプライチェーンの復旧などにより、経済活動は正常化しつつありますが、円高や電力供給の制約及び雇用情勢の悪化など厳しい状況で推移いたしました。

また、当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましても、東日本大震災の影響により、観光客などの大幅減少や生産活動の低下など厳しい状況で推移いたしました。

医療業界におきましては、臨床検査業界の再編による競争激化や医療機関の規模縮小が進み、依然として厳しい経営環境におかれましては、

このような状況の中、当社グループは、医療機関からの多様なニーズに応えた積極的な営業活動を展開し、新規顧客の獲得や採算性を重視した経営改善に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,801百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益236百万円（同113.3%増）、経常利益259百万円（同108.1%増）、四半期純利益147百万円（同61.6%増）と増収増益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、新規取引先の獲得に重点をおいた営業展開を推し進めてきたことにより一定の成果を上げることができ、売上高1,318百万円（同7.2%増）、セグメント利益109百万円（同44.7%増）と増収増益になりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、既存店舗の来局患者数の増加により、売上高は2,280百万円（同4.5%増）、セグメント利益231百万円（同69.7%増）と増収増益になりました。

医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、前年同期は好調であった大型備品の販売が平年並みであったことにより売上高185百万円（同38.6%減）、セグメント損失1百万円（前年同期はセグメント利益8百万円）と減収減益になりました。

その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守の収入におきましては、売上高16百万円（前年同期比43.0%増）、セグメント利益8百万円（同563.3%増）になりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 12,000,000 |
| 計 | 12,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成23年8月11日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|--|---------------|
| 普通株式 | 4,216,000 | 4,216,000 | 大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 札幌証券取引所 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 4,216,000 | 4,216,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備 金増減額 (千円) | 資本準備 金残高 (千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成23年4月1日～ 平成23年6月30日 | - | 4,216,000 | - | 983,350 | - | 1,015,270 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 236,400 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 3,979,300 | 39,793 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 300 | - | - |
| 発行済株式総数 | 4,216,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 39,793 | - |

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式52株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|----------------|--------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 札幌臨床検査センター株式会社 | 札幌市中央区北5条西18丁目9番地1 | 236,400 | - | 236,400 | 5.61 |
| 計 | - | 236,400 | - | 236,400 | 5.61 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、創研合同監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|-------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,663,613 | 1,826,964 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,311,251 | 2,383,956 |
| 商品及び製品 | 545,756 | 573,185 |
| 仕掛品 | 14,356 | 13,141 |
| 原材料及び貯蔵品 | 28,806 | 22,608 |
| 繰延税金資産 | 54,787 | 54,787 |
| その他 | 88,589 | 103,213 |
| 貸倒引当金 | 37,962 | 31,285 |
| 流動資産合計 | 4,669,198 | 4,946,572 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,745,831 | 1,746,693 |
| 減価償却累計額 | 1,086,101 | 1,098,841 |
| 建物及び構築物(純額) | 659,730 | 647,852 |
| 機械装置及び運搬具 | 65,387 | 66,506 |
| 減価償却累計額 | 57,217 | 58,541 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 8,169 | 7,965 |
| 工具、器具及び備品 | 1,867,207 | 1,886,657 |
| 減価償却累計額 | 1,442,615 | 1,490,416 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 424,592 | 396,240 |
| 土地 | 909,323 | 909,323 |
| リース資産 | 52,879 | 61,095 |
| 減価償却累計額 | 15,829 | 18,866 |
| リース資産(純額) | 37,050 | 42,229 |
| 有形固定資産合計 | 2,038,865 | 2,003,610 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 159,159 | 147,855 |
| 無形固定資産合計 | 159,159 | 147,855 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 124,132 | 115,994 |
| 長期貸付金 | 33,027 | 31,039 |
| 長期前払費用 | 26,382 | 27,410 |
| 差入保証金 | 324,896 | 322,443 |
| 繰延税金資産 | 140,905 | 144,061 |
| その他 | 243,207 | 243,849 |
| 貸倒引当金 | 191,498 | 190,914 |
| 投資その他の資産合計 | 701,052 | 693,884 |
| 固定資産合計 | 2,899,077 | 2,845,350 |
| 資産合計 | 7,568,276 | 7,791,923 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,710,004 | 2,118,431 |
| 短期借入金 | 413,181 | 177,777 |
| リース債務 | 12,127 | 13,385 |
| 未払法人税等 | 160,372 | 121,578 |
| 未払金 | 124,986 | 114,675 |
| 賞与引当金 | 67,986 | 38,663 |
| その他 | 129,975 | 174,216 |
| 流動負債合計 | 2,618,633 | 2,758,727 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 64,061 | 52,255 |
| リース債務 | 32,055 | 35,906 |
| 長期未払金 | 214,097 | 210,334 |
| 役員退職慰労引当金 | 55,863 | 52,713 |
| 退職給付引当金 | 9,600 | 9,795 |
| 繰延税金負債 | 298 | 98 |
| その他 | 6,041 | 6,041 |
| 固定負債合計 | 382,015 | 367,143 |
| 負債合計 | 3,000,649 | 3,125,871 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 983,350 | 983,350 |
| 資本剰余金 | 1,015,270 | 1,015,270 |
| 利益剰余金 | 2,668,466 | 2,771,827 |
| 自己株式 | 98,502 | 98,502 |
| 株主資本合計 | 4,568,583 | 4,671,944 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 955 | 5,891 |
| その他の包括利益累計額合計 | 955 | 5,891 |
| 純資産合計 | 4,567,627 | 4,666,052 |
| 負債純資産合計 | 7,568,276 | 7,791,923 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 3,725,794 | 3,801,057 |
| 売上原価 | 2,681,846 | 2,633,758 |
| 売上総利益 | 1,043,947 | 1,167,299 |
| 販売費及び一般管理費 | 933,248 | 931,134 |
| 営業利益 | 110,698 | 236,164 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 727 | 452 |
| 受取配当金 | 1,324 | 1,500 |
| 受取賃貸料 | 15,060 | 16,098 |
| 貸倒引当金戻入額 | - | 7,234 |
| その他 | 7,435 | 10,237 |
| 営業外収益合計 | 24,546 | 35,522 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,208 | 1,540 |
| 賃貸収入原価 | 8,265 | 9,914 |
| その他 | 50 | 668 |
| 営業外費用合計 | 10,524 | 12,123 |
| 経常利益 | 124,721 | 259,564 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 40,452 | - |
| 固定資産売却益 | 104 | - |
| 特別利益合計 | 40,556 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 222 | - |
| 固定資産除却損 | 850 | 129 |
| 会員権評価損 | 1,400 | - |
| 特別損失合計 | 2,472 | 129 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 162,804 | 259,434 |
| 法人税等 | 71,740 | 112,298 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 91,064 | 147,136 |
| 四半期純利益 | 91,064 | 147,136 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 91,064 | 147,136 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 5,861 | 4,936 |
| その他の包括利益合計 | 5,861 | 4,936 |
| 四半期包括利益 | 85,203 | 142,200 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 85,203 | 142,200 |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

| | |
|---------|---|
| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
| 税金費用の計算 | 税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。 |

【追加情報】

| | |
|---|---|
| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
| <p>(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)</p> <p>当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。なお、「金融商品会計に関する実務指針」(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号)が平成23年3月29日付けで一部改正されたことに伴い、従来、特別利益に計上しておりました「貸倒引当金戻入額」は、当第1四半期連結累計期間より営業外収益に「貸倒引当金戻入額」として計上しておりますが、同実務指針の定めに基づき、前第1四半期連結会計期間については遡及処理を行っておりません。</p> <p>(不動産管理並びに賃貸業の収入及び原価の計上区分の変更)</p> <p>当社の連結子会社であるアクテック株式会社の不動産管理並びに賃貸による収入及び原価については、従来、売上高及び売上原価に計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より営業外収益の受取賃貸料及び営業外費用の賃貸収入原価として計上する方法に変更しております。</p> <p>この変更は、当社グループの事業内容を見直した結果、今後の事業戦略上、アクテック株式会社の不動産管理並びに賃貸業を主たる事業として積極的に事業展開する予定がないことを取締役会で決議したことを契機として、より実態を適切に表示するために行ったものであります。</p> <p>当該計上区分の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。</p> <p>この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上総利益及び営業利益が842千円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。</p> <p>なお、セグメント情報に与える影響については、当該個所に記載しております。</p> | |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|--|--|
| <p>1. 保証債務 連結子会社以外の会社等の金融機関からの借入金に対して、次のとおり債務保証を行っております。 (1) 従業員の金融機関からの住宅取得資金等の借入金に対する保証 従業員6名(保証債務) 12,063千円</p> | <p>1. 保証債務 連結子会社以外の会社等の金融機関からの借入金に対して、次のとおり債務保証を行っております。 (1) 従業員の金融機関からの住宅取得資金等の借入金に対する保証 従業員5名(保証債務) 10,748千円</p> |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 80,633千円 | 79,758千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成22年6月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 41,456 | 10 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月28日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 43,775 | 11 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月27日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 計 | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|------------|------------|---------------------|-----------|------------|-----------|
| | 臨床検査 事業 | 調剤薬局 事業 | 医療機器 販売・保 守事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,230,174 | 2,182,112 | 302,184 | 3,714,471 | 11,322 | 3,725,794 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | 185,803 | 185,803 | 203 | 186,007 |
| 計 | 1,230,174 | 2,182,112 | 487,987 | 3,900,275 | 11,526 | 3,911,801 |
| セグメント利益 | 75,839 | 136,162 | 8,192 | 220,194 | 1,213 | 221,407 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 220,194 |
| 「その他」の区分の利益 | 1,213 |
| セグメント間取引消去 | 2,253 |
| 全社費用(注) | 108,455 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 110,698 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|------------|------------|---------------------|-----------|------------|-----------|
| | 臨床検査 事業 | 調剤薬局 事業 | 医療機器 販売・保 守事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,318,289 | 2,280,967 | 185,605 | 3,784,861 | 16,195 | 3,801,057 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | 126,971 | 126,971 | 127 | 127,098 |
| 計 | 1,318,289 | 2,280,967 | 312,576 | 3,911,832 | 16,323 | 3,928,155 |
| セグメント利益又は損失 () | 109,739 | 231,059 | 1,109 | 339,689 | 8,046 | 347,736 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。
2. 「追加情報 不動産管理並びに賃貸業の収入及び原価の計上区分の変更」に記載のとおり、当社の連結子会社であるアクテック株式会社の不動産管理並びに賃貸による収入及び原価については、従来、売上高及び売上原価に計上していましたが、当第1四半期連結累計期間より営業外収益の受取賃貸料及び営業外費用の賃貸収入原価として計上する方法に変更しております。なお、当該計上区分の変更は遡及適用され、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の「その他」の売上高が2,068千円、「その他」のセグメント利益が842千円及びセグメント間取引消去が3,000千円減少しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 339,689 |
| 「その他」の区分の利益 | 8,046 |
| セグメント間取引消去 | 2,049 |
| 全社費用(注) | 113,620 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 236,164 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 22円30銭 | 36円97銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 91,064 | 147,136 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 91,064 | 147,136 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 4,083 | 3,979 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月11日

札幌臨床検査センター株式会社
取締役会 御中

創研合同監査法人

代表社員 公認会計士 前田 裕次 印
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 北倉 隆一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている札幌臨床検査センター株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、札幌臨床検査センター株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。